

最新データで解明 中学受験の新たな潮流

Weekly Toyo Keizai 週刊東洋経済 2021 5/29 定価730円

大学付属 VS. 中高一貫

6年ですっかり鍛える進学校 受験を気にせず学べる付属校

コロナで私立志向が加速

付属校に行くより「お得」な進学校ランキング

最新合格実績 1都3県+関西ランキング

有力大へ行きやすい付属校ランキング

カリスマが指南 おおたとしまさ 矢野耕平 安浪京子



東京 神奈川 埼玉 千葉 大阪 兵庫 京都 奈良

最新合格実績で見る

6年間で伸びる進学校ランキング

関東と関西の一貫校を都府県別にランキング。

2021年

表の見方
卒業時偏差値が45.0以上で、大学合格者が卒業生数よりも多い中高一貫校を項目ごとに上位から掲載した。中学入学時偏差値データがない学校や卒業生数が50人未満の学校は掲載していない。公立の一貫校は一貫教育を受けた卒業生がいる併設型と中等教育学校のみとし、連続型は除いた。

学力伸長度
中間年度とそれだけ学力が向上したかを試算したため、算出方法は、
学力伸長度＝卒業時偏差値(2021年)－中学入学時偏差値(2016年)
中学入学時偏差値は、日経研の調査を使用。合格可能性%を目安としている。日程や方式により複数の偏差値がある場合、最も低い偏差値データを採用した。また、参考値として2021年度の入学時偏差値も併記した。

卒業時偏差値
駿台予備学校の「国語総合全国模試」(2020年9月実施)・合格可能性50%の全データから2割(復習コース、私立大共通テスト利用入試を扱った進路別の平均を平均偏差値とし、その平均値を各大学の平均偏差値とした。ただし、共通テスト利用入試のみの私立大は共通テスト利用入試のデータを使用した。高校別合格者数データのある400大学について各高校の合格者数と大学の平均偏差値の相関平均から「卒業時偏差値」を算出した。計算式は以下のとおり。
卒業時偏差値＝(A大学合格者数×B大学偏差値＋B大学合格者数×C)÷(A+B)
(A:大学合格者数、B:大学合格者数、C:)

卒業生数
全日制通信制や定時制を併設している学校の卒業生数は全日制のみ的人数を使用した。

大学合格者数データ
高校別大学合格者数は大学通信課へ、私立大と一部の国立大の合格者数は、各大学発達の数値で内部合格者や推薦などの人数を含んでいないことがある。その数は各都府県に限定した人数で、未集計や非公表の場合がある(4月20日時点の集計)。

なお、表にある大学合格者数のうち「東大・京大」は東京大、京大の合計。「関関同立」は北海道大、東北大、名古屋大、大阪大、九州大、東亜工業大、一橋大、神戸大の合計。「国公立大医学部医学科」は防衛医科大学校(国公立大医学部医学科の合格者数)、「早慶上理」は早稲田大、慶応大、上智大、東京理科大学の合計。「GMARCH」は学習院大、明治大、青山学院大、立教大、中央大、法政大の合計。「関関同立」は関西大、関西学院大、同志社大、立命館大の合計。「日東駒専」は日本大、東洋大、駒沢大、専修大の合計。

(注)○は国立、●は公立、無印は私立校。空欄は可成り不明。▲はマイナス (出所) 大学通信

6年間で学力が伸びる中高一貫校はどこのか。卒業時偏差値から中学入学時偏差値を引いて算出した「学力伸長度」をランキングしたのが左。以降、表と表裏で予備校の偏差値と併せて、卒業時偏差値は各高校の合格実績と算出、中学入学時偏差値は日経研のデータを採用した。この差が大きければ大きいほど、入学後に生徒の学力が伸びている「お得校」と位置づけられる。2021年の最新合格実績から割り出した。東京都から見ていこう。トップは渋谷区にある富士見大。今年卒業生は、最難関私立大である早慶上理(早稲田、慶応、上智、東京理科)に14人が合格した。GMARCH(青山学院、明治、青山学院、立教、中央、法政)にも29人、日東駒専(日本、東洋、駒沢、専修)にも2人が合格。卒業生が

84人と少ないにもかかわらず、専ら上名門私立に多くの卒業生を送り込む。教育では英語な力を求めている。

神奈川県では横浜市の女子校、聖ヨゼフ学園がトップ。「学力伸長度」は15.2で、全国でも4位と高い。国際バカロレア認定校でもある。

埼玉県の1位は青山学院和礼1テル(さいたま市)。早慶上理に6人が合格した。小学校も併設する同校は19年に青山学院大学と系属校提携を結んだ。人気の青学ブランドの効果が、志願者が増えた。青学への内部進学が始まるのは19年度に小学校に入学した児童から。その12年後の31年春には、希望する卒業生全員が青学へ推薦入学できる見通しだ。

千葉県では君津市の翔運が1位。少人数教育に力を入れており、同

校の学力伸長度は全国でもトップとなった。

大阪は大谷が首位
大阪府は大阪市の女子校、大谷が1位。大阪6人、神戸3人、大阪市の5人、大阪府立6人と、関西の難関国立に合格者を輩出する。1909年創立の伝統校で、真宗大谷派の教えに基づいた宗教的情操教育を行っている。

兵庫県は、関西の難関国立である関同立(関西、関西学院、同志社、立命館)に34人が合格した。小倉心女子学院(京都市)が、奈良県は帝塚山(奈良市)がそれぞれ府県でトップとなった。

なお、中学入学時偏差値が極端に高い学校では、学力伸長度が低い数値になる傾向がある。中学受験のトップ校は偏差値が70以上。大学受験の偏差値で70を超えるのは旧帝国大学の医学部などに限られる。また、中学入学時偏差値は日経研、高校卒業時偏差値は駿台予備校のデータを使っており、母集団の違いという差もある。そのため本ランキングは、中学入学時偏差値が30-40台といった中堅校で大学進学を考えたとき、どの学校がお得かを見るのに適しているといえる。(林哲夫)

(週刊 東洋経済5/29より)

6年間で伸びる進学校ランキング 関西

順位	学校名	学力伸長度 (A-B)	卒業時偏差値 (21年,A)	中学入学時偏差値		卒業生数 (全日優先 21年人)	東大・京大 難関国立大	
				15年 (B)	21年		東大・京大	難関国立大
1	大谷	14.6	49.6	35	35	211		9

女子校・中高一貫教育
面倒見の良さ・学力伸長度

大阪首位
関西 1位
全国 7位

大阪は大谷が首位

大阪府は大阪市の女子校、大谷が1位。大阪6人、神戸3人、大阪市立5人、大阪府立6人と、関西の難関国公立に合格者を輩出する。1909年創立の伝統校で、真宗大谷派の教えに基づいた宗教的情操教育を行っている。